

小学5・6年生むき

夏休みにおすすめの本

『ハヤ号セイ川をいく』

フィリパ・ピアス/作 講談社 GY-ピ

夏休み、セイ川を流れてきたカヌーを見つけたデビットは、その持ち主のアダムと友達になり、カヌーにハヤ号と名前をつけます。2人は一編のなぞの詩から、アダムの祖先の宝を探しはじめます。

カヌーで結ばれた2人の少年の冒険と友情の物語です。

『小さい牛追い』

マリー・ハムズン/作 岩波書店 GY-ハ

ノールウェイの農場に住む4人の子どもたちは、夏の間、村の家々の牛やヤギをあずかって放牧するため、両親とともに山の上の牧場に行きます。10歳のオーラと8歳のエイナールは、今年初めて牛追いの仕事をまかされることになり、はりきります。

『宝島』

R. スチーブンスン/作 童心社 GY-ス

宿屋の少年ジムは、殺された船乗りの残した宝の地図を手に入れました。地主のトリローニさんや医者のリブジー先生、船乗りたちとともに、ジムは宝探しの航海に出ます。ところが、この船乗りたちは宝をねらう海賊だったのです。

『たのしい川べ』

ケネス・グレイアム/作 岩波書店 GY-グ

自然あふれる静かな川べで、ヒキガエル、アナグマ、モグラたちが暮らしています。これらの動物たちの間におこる事件のかずかずをユーモラスに描いた詩情豊かな物語です。

『海のとまご』

ルーシー・M・ボストン/作 岩波書店、大日本図書 GY-ボ

夏休みを家族と一緒に海辺の別荘で過ごしていたトビーとジョーの兄弟は、ある日たまごに似た美しい模様の石を手に入れます。2人は海のとまごと名づけ、秘密の磯だまりに隠しますが、次の日行ってみるとたまごはなくなっていました。ところがボートから双眼鏡でながめていたとき、二人はその場所にアザラシの親子と人魚の男の子トリトンを見つけます。

### 『神々のとどろき』

ドロシー・ハスフォード/作 岩波書店 GY-ハ

北欧の神々―万物の父オーディン、勇猛な雷の神トール、いたずら者のロキなどは、アースガルドと呼ばれる美しい都に住んでいます。また地の果ての国ヨツンヘイムに住む巨人たちは絶えず神々に戦いを挑んでいます。最後の決戦の日が来て、神々も巨人もろともに滅び去りますが、闇と静寂のあと、新しい日がおとずれます。

神々の冒険と戦いの物語。

### 『タガメビオトープの1年』

市川憲平/著 偕成社 L10-48-イ

姫路市立水族館の飼育係で、タガメの研究者でもある著者が、伊勢小学校の5・6年生と一緒に棚田にタガメビオトープをつくることにしました。子どもたちはこれまで経験したことのない農業体験にとまどいつつも、一生けんめい赤米田を作り、タガメをまもります。

### 『地球生活記』

小松義夫/著 福音館書店 38-コ

世界中のいろいろな家の写真集です。水が貴重な地域で、屋根をじょうご形にして雨水を集める家や、敵から逃れるために地下につくった家など、風土や人々の生活を反映した家が紹介されています。

同じ著者のシリーズで『地球人記』もあります。

### 『大きな森の小さな家』

ローラ・インガルス・ワイルダー/作 福音館書店 GY-ワ

開拓時代のアメリカ北部の“大きな森”の丸太小屋に、若い夫婦と幼い娘たちが暮らしていました。近くには家は一軒もなく、会うのは野生生物ばかりです。とうさんは森を開拓し、かあさんは家事に精を出し、子どもたちは両親の愛情につつまれ幸せな毎日をすごします。

大自然を背景にした一家の四季折々の様子が5歳のローラの目を通して描かれています。

『リンゴ畑のマーティン・ピピン』

エリナー・ファージョン/作 岩波書店 GY-フ

恋人と引きはなされた少女ジリアンは、リンゴ畑の井戸屋形に閉じ込められています。屋形には6つの錠がついていて、6人の男ぎらいの乳しぼり娘たちがそのかぎをもって見張っています。旅の歌い手マーティン・ピピンは、娘たちに6つの恋物語を語り、そのかぎを手に入れようとします。

『吸血鬼の花よめ ブルガリアの昔話』

八百板洋子/編・訳 福音館書店 GY-キ

深い森の中の古城に3人の姫が住んでいます。姫たちは気に入った若者に金のりんごを渡し、婚礼をあげますが、末の姫が選んだ若者はなかなか迎えをよこしません。ようやくやって来た使いは古い大きな墓の中へ姫をつれて行きます。夫になった若者は夜ふけになると姫のもとへ訪れるのですが、一番鶏が鳴くとどこかへ行ってしまう。

『くまのパディントン』

マイケル・ボンド/作 福音館書店 GY-ボ

ブラウンさん夫婦は、ロンドンのパディントン駅で「どうぞこのくまのめんどろをみてやってください。おたのみします」という札を首につるしているクマを見つけます。ブラウンさん夫婦はそのクマをひきとって、パディントンと名づけます。

シリーズ10冊のうちの最初の1冊です。

『秘密の花園』

F.H. バーネット/作 福音館書店 GY-バ

気むずかしやのメリーは、両親を亡くし伯父に引き取られます。その屋敷には、10年間閉ざされた“庭”があり、メリーはコマドリに教えられ、庭の鍵と扉を見つけました。

メリーは素朴な友人たちや英国の美しい自然の中で明るく元気になっていきました。

『ドリトル先生航海記』

ヒュー・ロフティング/作 岩波書店 GY-ロ

ドリトル先生は動物と話のできるお医者さんです。ある日、紫ゴクラクチョウから友人の博物学者が行方不明だという知らせを受けました。ドリトル先生は友人をさがすためトミー少年や動物たちとともに航海に出ます。漂流するクモサル島で友人を見つけだし、敵対する2つの部族を和解させた先生は島の王に選ばれます。

### 『床下の小人たち』

メアリー・ノートン/作 岩波書店 GY-ノ

その辺に置いたはずの小さな物がなくなるのは、何でもこっそり人間から借りて暮らしている小人が、床下に住んでいるからです。イギリスのある古い家の床下にそんな小人の一家が住んでいました。人間にかくれて暮らしていましたが、ある日小人の少女がその家の男の子に見られてしまいます。

### 『とぶ船』

ヒルダ・ルイス/作 岩波書店 GY-ル

ピーターは、みかけない通りの小さな店で、小さな船を買います。その船は普段はポケットにしまえる大きさですが、行き先を告げると大きくなって行きたいところへ連れて行ってくれます。ピーターたち4人きょうだいは外国や北欧の神々の世界を訪れたり、歴史をさかのぼったりして、たくさんの冒険に出会います。